

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	松岡 緑	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	糖尿病における患者教育プロセスを重視した教育方法の開発に向けた基礎的研究	500
教授	斉藤ひさ子	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	閉経に伴う性行動の変化と心理社会的変数の関連性の検討	1,100
講師	藤田 君支	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	人工股関節置換術を受けた患者の日常生活の実態と退院指導に関する質的研究	600
講師	山川 裕子	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	抑うつ状態で精神科に入院した患者の回復過程における認識	700
助手	古賀 明美	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	糖尿病患者における受診中断後の療養生活の実態とその変化に関する質的研究	1,300
助手	野中千普美	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	救急外来受診患者の家族の不安の影響要因に関する研究	1,000

地域保健・老人看護学講座

著書

- 1 忽那龍雄：運動器系。カラーで学べる病理学。編集渡部照男。廣川書店。東京 2002。
- 2 小野ミツ，吉岡幸子，高崎絹子：ドイツにおける高齢者虐待の予防と支援。東京医科歯科大学大学院大学保健衛生学研究科。東京 2002。

学術論文

- 1 橋本 明，佐藤 元，西林保朗，椎野泰明，忽那龍雄他 8 名：RA 患者の QOL：AIMS2日本語版調査を用いた多施設共同調査成績 - II。医療費および関連する諸因子の解析-。リウマチ 42：23-39，2002。
- 2 藤野成美：慢性関節リウマチ患者における精神的側面と看護職者の役割。佐賀医科大学大学院医学系研究科平成13年度修士論文 1-34，2002。
- 3 木村裕美，中村愛子，忽那龍雄：介護老人保健施設入所者の在宅看護の潜在的問題点。保健の科学 44(12)：941-947，2002。
- 4 小野ミツ，高崎絹子：ドイツの介護保険制度と高齢者虐待・身体拘束。日本在宅ケア学会誌 6(1)：24-31，2002。
- 5 大富千壽子：在宅高齢療養者に対する主介護者の介護負担感に影響を及ぼす因子について。佐賀医科大学大学院医学系研究科平成13年度修士論文 1-29，2002。
- 6 松永秀俊：脳卒中片麻痺患者の退院時の身体機能レベルと社会復帰との関連性。佐賀医科大学大学院異学系研究科平成13年度修士論文 1-21，2002。

- 7 村田 伸, 忽那龍雄: 足把持力測定を試み—測定器の作成と測定値の再現性の検討. 理学療法科学 17(4): 243-247, 2002.
- 8 鈴木真貴子: 老年者の身体機能と健康運動(ボールエクササイズ). 佐賀医科大学大学院医学系研究科平成13年度修士論文 1-34, 2002.
- 9 木村裕美, 中村愛子, 忽那龍雄: 介護老人保健施設入所者の潜在的問題点, 保健の科学, 44: 941-947, 2002.
- 10 水主いづみ, 忽那龍雄, 岩本幸子: 人工膝・股関節置換術を受けた RA 患者の在宅ケア. 九州リウマチ 21: 52-56, 2002.

学会発表

- 1 荒木久恵, 栗山鈴子, 谷口知章, 水主いづみ: 老年看護実習における指導体制の検討—痴呆高齢者施設での取り組み—. 2002, 11, 3. 日本老年看護学会第7回学術集会. 109.
- 2 神崎匠世, 水主いづみ, 岩本幸子, 忽那龍雄: 在宅高齢者の健康運動と睡眠の関連について～ボールエクササイズの効果～. 日本老年看護学会第7回学術集会. 2002, 11, 3. 日本老年看護学会第7回学術集会抄録集: 46.
- 3 木村裕美, 小野ミツ: 地域看護実習における健康教育からの学び. 第5回日本地域看護学会学術集会. 2002, 6, 22. 日本地域看護学会学術集会講演集: 158.
- 4 忽那龍雄: 地域におけるリウマチ診療のネットワーク作り. 第46回日本リウマチ学会総会. 2002, 4, 24.
- 5 三根哲子, 板山祥子, 木村裕美: 障害者との共生に関する意識調査. 第33回日本看護学会地域看護. 2002, 11, 22. 日本看護学会抄録集(地域看護): 101.
- 6 村田 伸, 忽那龍雄: 足趾・足底把握力測定器の作成(その再現性と妥当性の検討). 第37回日本理学療法学術大会. 2002, 6, 5. 理学療法学 29(学会特別号): 192.
- 7 村田 伸, 忽那龍雄: 在宅障害高齢者の足把持能力と転倒との関連性. 第24回国立理学療法士学会. 2002, 10, 13. 学会特別号: 10.
- 8 小野ミツ, 小西美智子: 在宅要介護高齢者に対する介護者の心理的距離の検討. 日本老年看護学会. 2002, 11, 4. 抄録集: 136.
- 9 小野ミツ, 高崎絹子, 佐々木明子, 吉岡幸子: 看護職が施設利用者から受けた対応困難な経験の実態. 第61回日本公衆衛生学会学術総会. 2002, 10, 24. 日本公衆衛生雑誌: 725.
- 10 大島千晴, 家永愛子, 樋渡春香, 杉 雅美, 毎熊恵子, 水主いづみ: 継続ケアの視点から見た看護情報分析—高齢循環器疾患患者の退院サマリーの検討—. 2002, 11, 3. 日本老年看護学会第7回学術集会. 183.
- 11 島田とくよ, 水主いづみ: 痴呆性高齢者の入浴過程における補充行動. 2002, 11, 3. 日本老年看護学会第7回学術集会. 139.
- 12 水主いづみ, 岩本幸子, 神崎匠世, 大畑政子, 忽那龍雄: ボールエクササイズ前後における高齢者の基礎体力の評価. 2002, 11, 3. 日本老年看護学会第7回学術集会. 45.
- 13 水主いづみ, 岩本幸子, 忽那龍雄, 徳永智恵美, 高崎光浩: 看護職者における情報科学教育—コンピュータ演習の効果と今後の課題—. 2002, 6, 29. 第3回看護情報研究会論文集 89-90.
- 14 高崎絹子, 三村洋美, 中田晴美, 小野ミツ, 吉岡幸子: 老人保健施設の看護職が利用者から受けた不快な経験—利用者の痴呆度による不快な経験の違いとその対処—. 2002, 11, 3. 日本老年看護

護学会第7回学術集会：54.

- 15 高崎光浩, 水主いづみ, 岩本幸子, 忽那龍雄, 庄野秀明: Web-based-teaching (WBT) におけるオンラインリアルタイムフィードバック方式の有効性について. 2002, 11, 2. 日本教育工学会第18回大会. 2002.
- 16 田中信広, 竹井健夫, 浅見豊子, 佛淵孝夫, 村田 伸, 忽那龍雄: リハビリテーションと看護「理学療法」を担当して—当院の理学療法の特殊性と今後. 第24回国立理学療法士学会. 2002, 10, 13. 学会特別号: 9.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
JOHP 研究班 代表	忽那 龍雄 他4名	平成14年度日本股関節研究 振興財団	研究助成金	JOHP人工股関節開発に関する共同 研究	1,000